



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月21日

上場取引所 東 名

上場会社名 KOA株式会社

コード番号 6999 URL <http://www.koanet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 向山 孝一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理イニシアティブ
トップマネジメント (氏名) 深野 香代子

TEL 0265-70-7171

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日 配当支払開始予定日 平成22年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	22,207	37.6	2,649	—	2,386	—	1,448	—
22年3月期第2四半期	16,133	△34.0	128	△76.8	81	△91.4	△181	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	39.48	—
22年3月期第2四半期	△4.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	56,824	44,048	77.4	1,199.18
22年3月期	55,268	43,675	78.9	1,188.88

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 43,986百万円 22年3月期 43,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	4.50	—	6.50	11.00
23年3月期	—	8.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

平成23年3月期期末の配当金額予想は第3四半期連結累計期間の決算発表時(来年1月)に開示いたします。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

平成23年3月期第3四半期連結累計期間の連結業績予想については、「5. 平成23年3月期の連結業績予想」をご参照ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 40,479,724株 22年3月期 40,479,724株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 3,799,709株 22年3月期 3,799,429株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 36,680,116株 22年3月期2Q 37,556,655株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

5. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	銭
第3四半期連結累計期間	33,100	27.0	3,800	292.9	3,600	307.7	2,200	442.7	59	98

（注）当四半期における業績予想の修正有無：有

今回、第3四半期連結累計期間の業績予想を行いました。また、第3四半期連結累計期間の決算発表時（来年1月）に通期の業績予想を発表いたします。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）の我が国経済は、輸出や生産の増加を背景に設備投資は持ち直しつつあり、雇用・所得環境は引き続き厳しい状況にあるものの個人消費は増加基調で推移するなど、緩やかな景気回復が続きました。一方、世界経済全体では、中国を中心としたアジアでは好調を維持し、米国でも緩やかな景気回復が続きましたが、欧州では財政危機の影響などにより一部で停滞が見られるものの、ドイツなど主要国を中心に改善が続きました。

当グループの属する電子部品業界におきましては、アジア地域でのデジタル機器向け需要や、欧米での自動車関連機器が引き続き順調に推移し、また日本においても自動車関連や産業機器などで需要の回復傾向が続いております。

このような環境のもと、旺盛な需要に支えられるとともに、当グループは品質・信頼性を重視する市場を中心に、高付加価値製品の拡販等の活動を進めてまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,207百万円（前年同期比6,073百万円増、37.6%増）となりました。

利益面におきましては、期後半の急激な円高の進行により厳しい環境下にありましたが、生産性の向上活動を進めることにより固定費を抑制するなど、引き続きコストダウンに努めたことにより、営業利益は2,649百万円（前年同期は営業利益128百万円）、経常利益は、為替差損351百万円等の計上により、2,386百万円（前年同期は経常利益81百万円）、四半期純利益は1,448百万円（前年同期は四半期純損失181百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は56,824百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,556百万円増加いたしました。主な要因としましては、受取手形及び売掛金等の増加によるものであります。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,183百万円増加いたしました。主な要因としましては、支払手形及び買掛金や未払金等の増加によるものであります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の78.9%から77.4%となりました。キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フロー2,138百万円、投資活動によるキャッシュ・フロー△980百万円、財務活動によるキャッシュ・フロー△369百万円となり、現金及び現金同等物の期末残高は14,396百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、長期的には緩やかな回復基調で推移すると思われれます。しかし、景気刺激策の終了にともなう一時的な停滞や、急激な円高傾向等による回復スピードの鈍化が起こる可能性があるものと思われれます。

当グループの属する電子部品業界におきましても、次期の受注動向に対しては慎重な見方が必要であり、収益面においても、金属材料相場の上昇や為替変動等の懸念材料があります。

このような状況を踏まえ、第3四半期連結累計期間の業績予想を以下の通りといたしました。なお、為替レートは、1米ドル＝85円を想定しております。

(第3四半期連結累計期間業績予想)

売上高	33,100百万円
営業利益	3,800百万円
経常利益	3,600百万円
四半期純利益	2,200百万円

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

法人税の計上基準 法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、税金等調整前四半期純利益が77百万円減少しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,229	15,885
受取手形及び売掛金	12,495	11,542
有価証券	763	566
たな卸資産	3,884	3,651
その他	1,540	1,270
流動資産合計	34,913	32,915
固定資産		
有形固定資産	16,287	16,293
無形固定資産	342	368
投資その他の資産	5,281	5,689
固定資産合計	21,911	22,352
資産合計	56,824	55,268
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,579	4,244
短期借入金	381	396
その他	3,924	2,878
流動負債合計	8,885	7,519
固定負債		
資産除去債務	80	—
その他	3,809	4,072
固定負債合計	3,890	4,072
負債合計	12,776	11,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,033	6,033
資本剰余金	9,012	9,012
利益剰余金	34,737	33,550
自己株式	△2,654	△2,653
株主資本合計	47,129	45,942
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	269	354
為替換算調整勘定	△3,412	△2,687
評価・換算差額等合計	△3,143	△2,333
少数株主持分	62	66
純資産合計	44,048	43,675
負債純資産合計	56,824	55,268

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	16,133	22,207
売上原価	12,695	15,679
売上総利益	3,438	6,527
販売費及び一般管理費	3,310	3,878
営業利益	128	2,649
営業外収益		
受取利息	43	36
受取配当金	8	10
その他	241	162
営業外収益合計	293	209
営業外費用		
支払利息	18	16
為替差損	100	351
その他	221	104
営業外費用合計	340	473
経常利益	81	2,386
特別利益		
固定資産売却益	4	2
その他	0	16
特別利益合計	5	19
特別損失		
固定資産処分損	2	21
損害賠償金	—	197
その他	107	85
特別損失合計	110	303
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22	2,101
法人税等	159	652
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,449
少数株主利益	△0	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△181	1,448

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22	2,101
減価償却費	1,056	960
売上債権の増減額(△は増加)	△956	△1,333
たな卸資産の増減額(△は増加)	411	△385
仕入債務の増減額(△は減少)	780	778
その他	62	129
小計	1,332	2,252
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	816	△164
その他	32	49
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,180	2,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△179	△749
その他	△603	△230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△782	△980
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△122	△14
配当金の支払額	—	△238
その他	△48	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170	△369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△234	△384
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	992	404
現金及び現金同等物の期首残高	12,349	13,991
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,341	14,396

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。